

## 2月のデキゴト

### 2月8日(土)開催 生活環境講座②

環境学館いずみで、年2回計画されている生活環境講座の第二回目が開催されました。

テーマは「埼玉県の地球温暖化対策」～カーボンニュートラルを目指そう～です。講師に、埼玉県温暖化対策課の島崎悠介先生をお迎えし、1. 地球温暖化の現状 2. 埼玉県の現状と取組み 3. 普及啓発の取組～私たちにできること～について講義をしていただきました。以下、それぞれについて説明します。



#### 1. 地球温暖化の現状

地球の平均気温は、1850年の産業革命後～2020年の170年間に1.09度上昇したのに対し、2011年～2020年の9年間に1.1度も上昇しており、このペースで上昇し続けると2100年には、最大5.7度上昇すると予想されています。一方、温暖化の要因と言われている二酸化炭素濃度は、産業革命後49%増加しており、この問題の解決に向けて、パリ協定(154カ国・1地域)が採択され、世界共通の長期目標として、「産業革命以前に対し、世界的な平均気温上昇を1.5度に抑える努力を追求すること」また、そのために、2050年までにカーボンニュートラル(温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源【緑化等】による除去量との間の均衡を達成する)を実現すると表明しているとの説明がありました。

また、気候変動により、①海面上昇・高潮 ②洪水・豪雨 ③インフラの機能停止 ④熱中症の増加 ⑤食料不足 ⑥水不足 ⑦海洋生態系の損失 ⑧陸上生態系の損失 等の影響がでるとの説明がありました。

#### 2. 埼玉県の状況と取組み

21世紀末における熊谷市の猛暑日は、気温が2度上昇したシナリオでは、猛暑日が9日程度、熱帯夜が13日程度増加、4度上昇したシナリオでは、猛暑日が36日程度、熱帯夜が61日程度増加するとともにこれに伴い様々な自然現象に影響が出るとの説明がありました。そこで、埼玉県では、2050年を実現期間とするカーボンニュートラル宣言を行うとともに地球温暖化対策の取組を更に進めるため埼玉県地域温暖化対策実行計画を改正し温室効果ガス削減対策として4つの方向性を示したとの説明がありました。

### 3. 普及啓発の取組～私たちにできること～

地球温暖化の現状を知っていただき、日々の暮らしの中で一人ひとりができる対策に取り組んでいただけるよう、リーフレット「未来のために『今』できること～あなたの行動が温暖化を止める～」を作成し、このリーフレットもとに温暖化を推進しているとの説明がありました。

講師の方の説明を聞き参加者からは、一人々ができることを実践し、温暖化を防止していくことが大切であるが、そのためには市役所等の行政からも積極的に情報発信をしていただきたいとの意見がありました。温暖化を止めるためには、この問題が地球規模であることや問題解決のためには個人々生活習慣を見直す必要があることから、まず一人々が温暖化の現状を知ることが重要であると感じました。

記 環境学館いずみ職員 N.H